

科 目 名	老 年 医 学【理学・作業】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	太 田 保 之						
開 講 年 次	2	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	必 修（作業） 選択必修（理学）
授業の概要 及びねらい	老化の概念について解説し、老年期における身体的および精神的特性を概説する。さらにそれらの知識を基に、老年期に特徴的な病態、疾患および治療法に関する医学的知識を概説する。また、老年期の生活の質を高めるための社会的な環境整備についても説明する。						
授 業 の 到達目標	1) 老化の概念が理解できる。 2) 高齢者の身体疾患特性が説明できる。 3) 高齢者の心理的・社会的特性が説明できる。 4) 高齢者の認知症に関して、その臨床特徴が理解できる。 5) 高齢者の認知症の鑑別ができる。 6) 高齢者の認知症の治療が理解できる。 7) 若年性認知症の臨床特徴と社会的問題が理解できる。 8) 高齢者のせん妄・認知症・抑うつ状態が鑑別できる。 9) 高齢者のせん妄・抑うつ状態の惹起要因としての身体疾患が理解できる。 10) 高齢者の気分障害などの臨床的特徴が理解できる。 11) 介護家族に対する支援方策が理解できる。						
学 習 方 法	講義						
テキスト及 び参考書等	関連資料を配付						
評 価 基 準 ・ 方 法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎				100	
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	老化の概念・老年期の概念						
第 2 週	高齢者に特有な身体症状（1）						
第 3 週	高齢者に特有な身体症状（2）						
第 4 週	高齢者に特有な身体症状（3）						
第 5 週	高齢者の心理的・社会的特性						
第 6 週	器質性精神障害 血管性認知症						
第 7 週	器質性精神障害 アルツハイマー型認知症（1）						
第 8 週	器質性精神障害 アルツハイマー型認知症（2）						
第 9 週	器質性精神障害 その他の認知症						
第 10 週	認知症の治療と介護						
第 11 週	家族介護に対する支援とカウンセリング						
第 12 週	高齢者の意識障害（せん妄状態）と身体疾患						
第 13 週	高齢者の気分障害と自殺対策						
第 14 週	高齢者の神経性障害と妄想性障害						
第 15 週	高齢者の社会生活と地域サポート						
第 16 週							
備 考	1) 事前に配布する資料や教科書等で予備知識を持つこと。 2) 講義中の討議には積極的に参加すること。						